

よみがえれ長良川

2020.1/12 あいち・なごや生物多様性EXPO

よみがえれ長良川実行委員会
武藤 仁

Image Landsat / Copernicus
Data SIO, NOAA, U.S. Navy, NGA, GEBCO
Data Japan Hydrographic Association

Google Earth

長良川は水源を大日ヶ岳とし
伊勢湾に注ぐ総延長166
km
の川です。

流域には、踊りで有名な郡上八幡、
和紙の美濃、刃物の関、鵜飼の岐阜、
蛤の桑名等々があり
ひとびとの営みと文化をはぐくみ
ながら流れてきました。

岐阜市

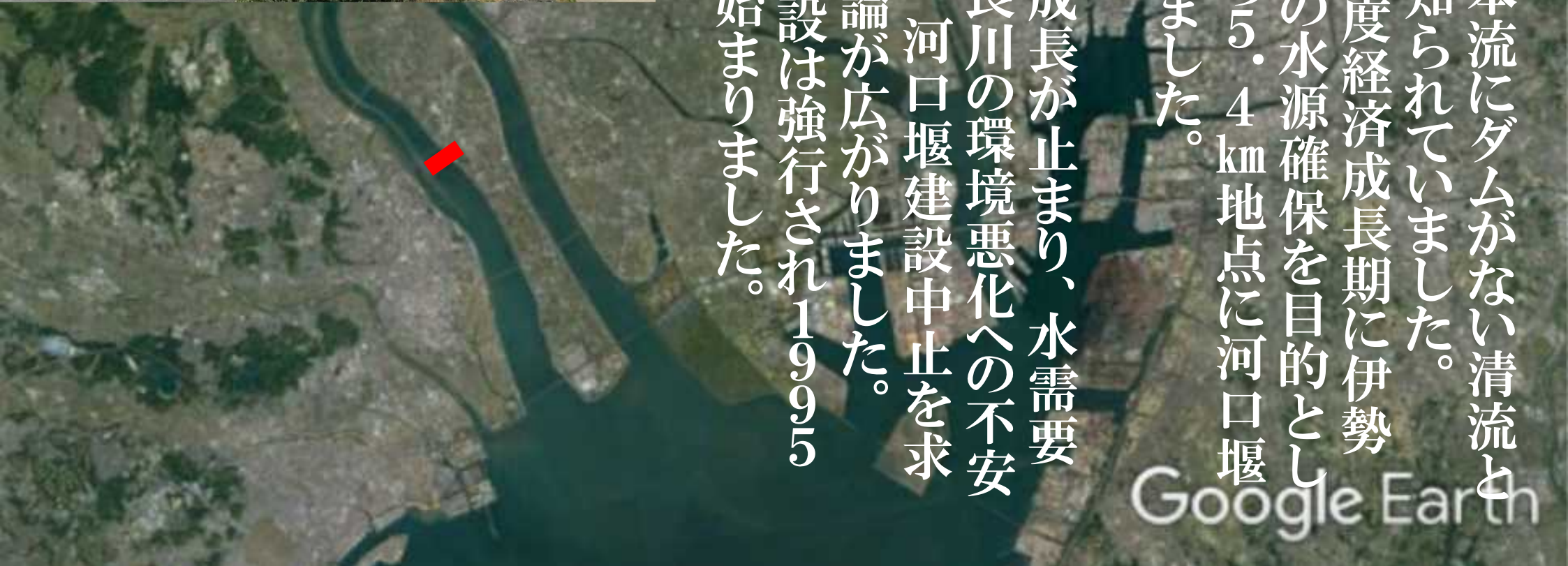
名古屋市

Image Landsat / Copernicus
Data SIO, NOAA, U.S. Navy, NGA, GEBCO
Data Japan Hydrographic Association

Google Earth



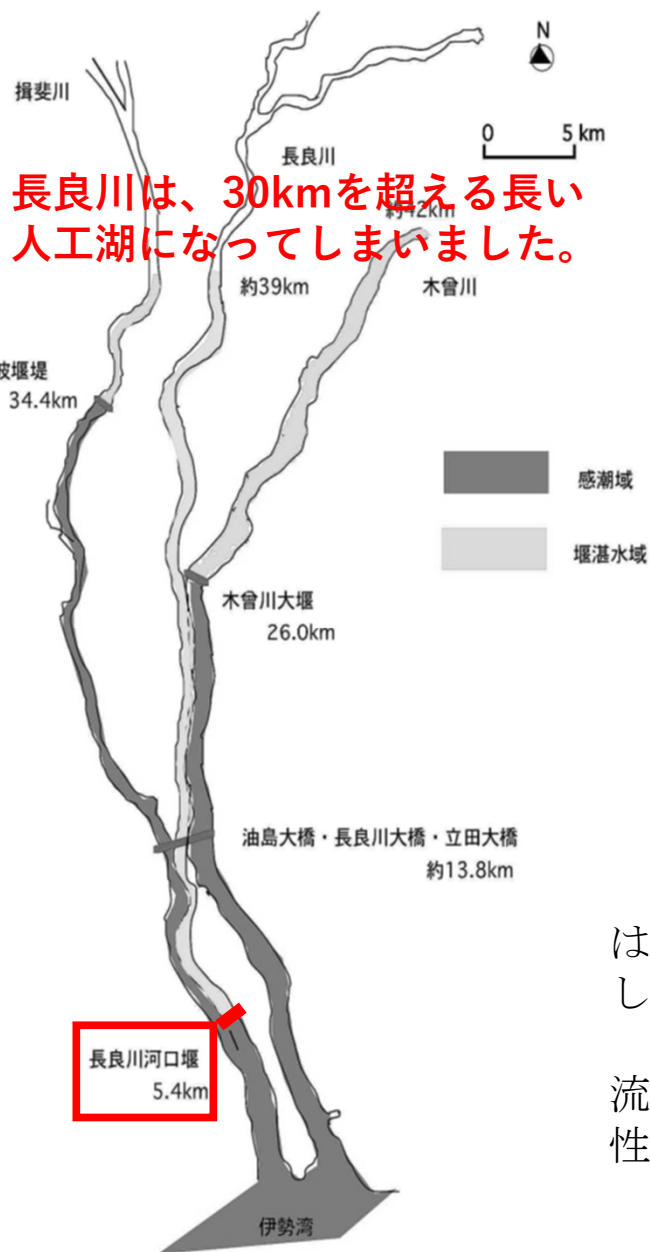
延長661mの可動堰
建設費1,500億円



長良川は本流にダムがない清流として全国に知られていました。しかし、高度経済成長期に伊勢湾工業地帯の水源確保を目的として、河口から5.4 km地点に河口堰が計画されました。

高度経済成長が止まり、水需要も低迷。長良川的环境悪化への不安が高まる中、河口堰建設中止を求める国民世論が広がりました。しかし、建設は強行され1995年に運用が始まりました。

Google Earth

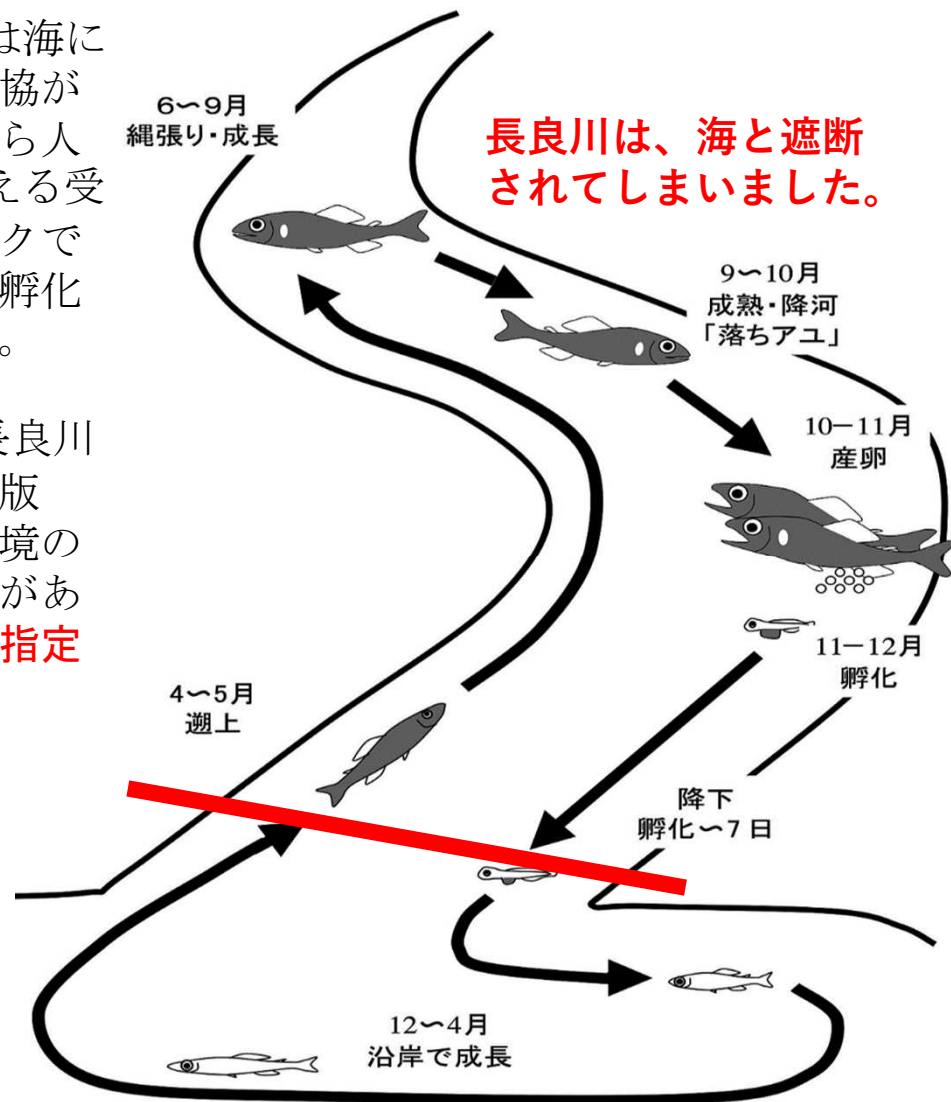


流れが止まり、仔魚は海に下れません。現在、漁協が落ち鮎から取った卵から人工授精し、1億個を超える受精卵を河口までトラックで運び河口の人工河川で孵化させ海に流しています。

2015年4月岐阜市は長良川の天然遡上アユを「市版レッドリスト」に、環境の変化次第で絶滅の恐れがある「準絶滅危惧種」に指定しました。

2015年12月「長良川の鮎」は世界農業遺産に認定されました。

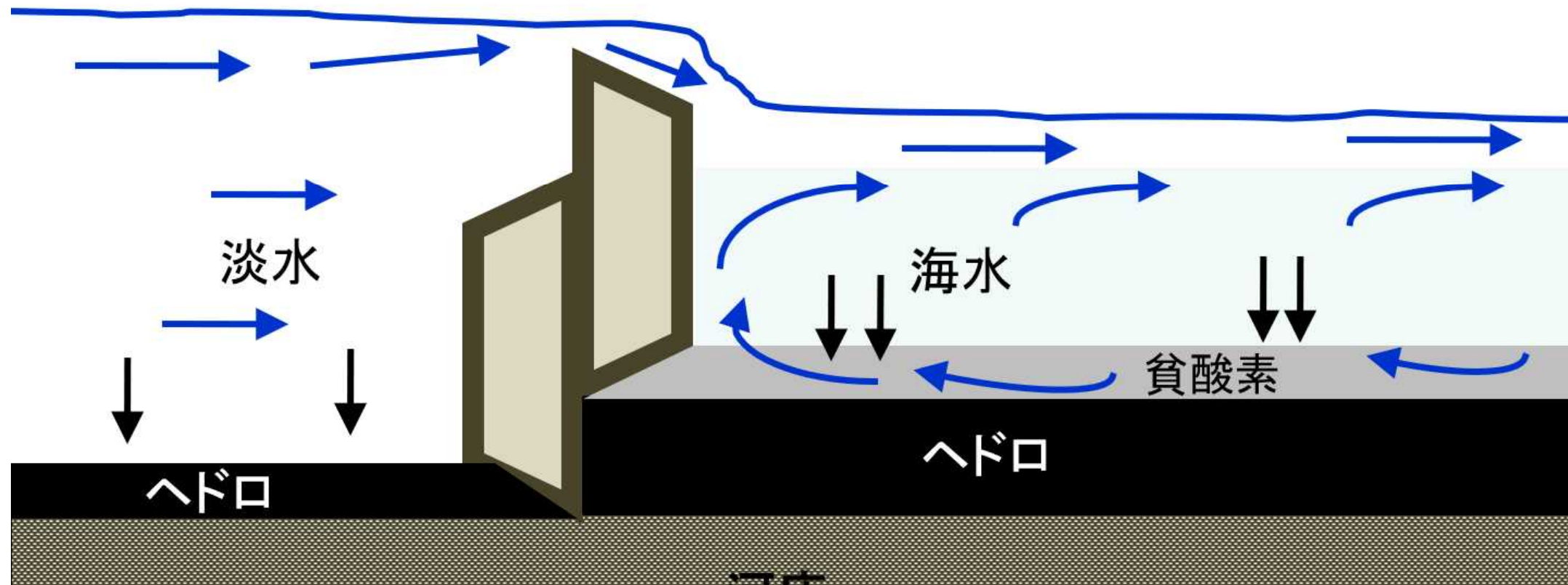
しかし、これが鮎の大量放流に拍車をかけ、魚類の多様性と生態系を狂わせています。

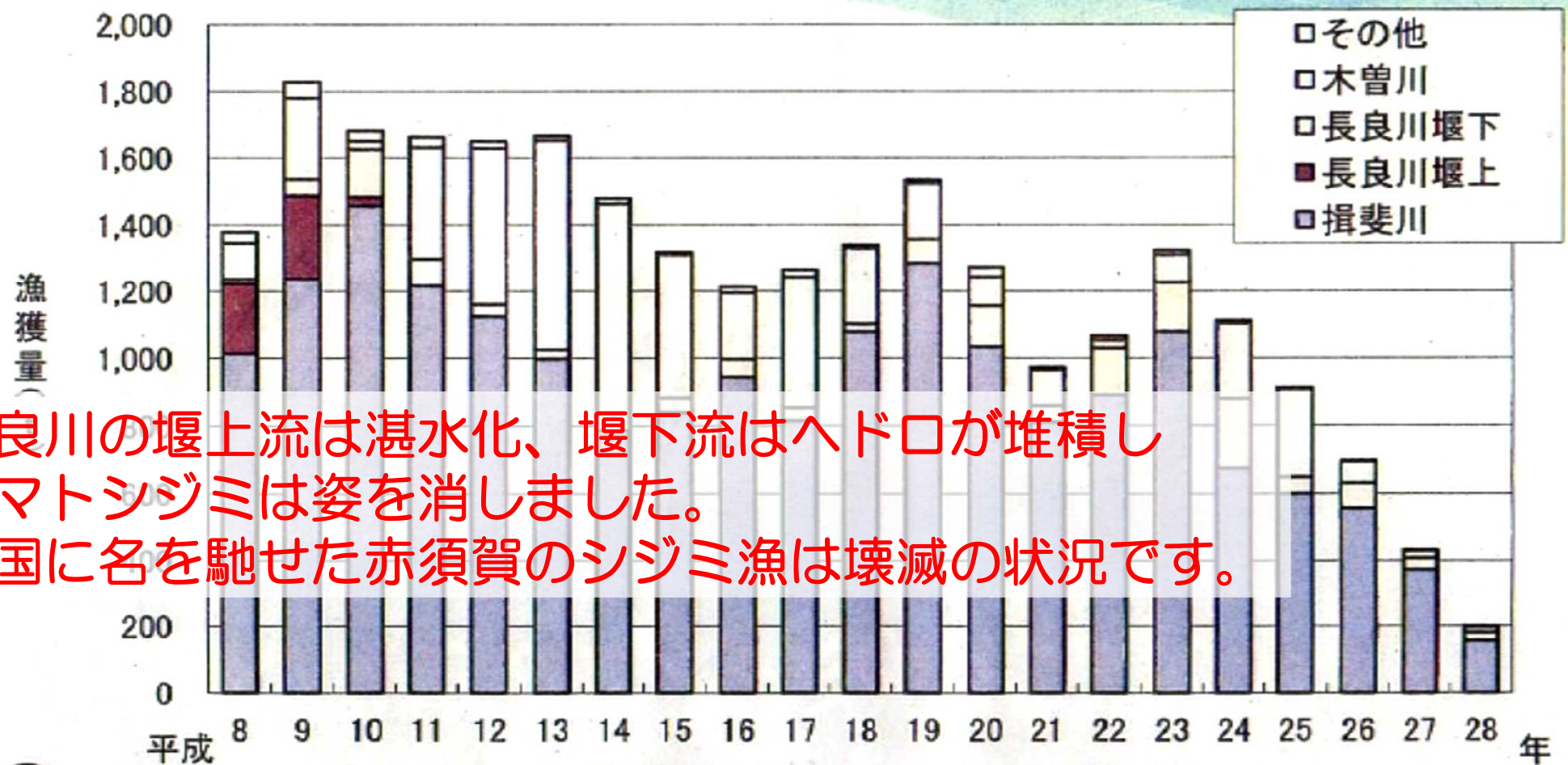


アユの生活史の模式図(長良川下流域生物相調査報告書2010より)

河口堰のゲートが閉鎖され

下流側には約2mの厚さのヘドロが堆積するようになりました。
酸素を必要とする生物が棲めない死の世界となりました。





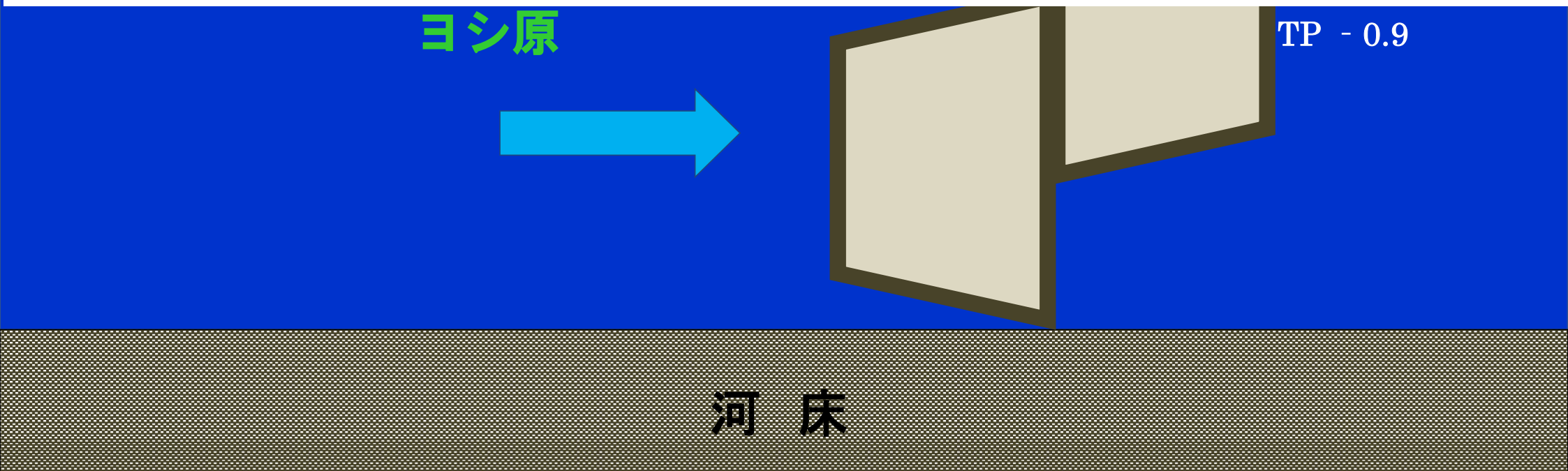
長良川の堰上流は湛水化、堰下流はヘドロが堆積し
ヤマトシジミは姿を消しました。
全国に名を馳せた赤須賀のシジミ漁は壊滅の状況です。

河川別漁獲量の推移(赤須賀漁業協同組合)

※平成8年は平成8年6月～12月までの6か月分の集計結果。

しかし河口堰ができゲートで締め切られ
上流側は水位が上がったままの湖となり
90%のヨシ原が消滅しました。

そこに棲む蟹、鳥など多様な生きものが消えていきました。



●私たちの取り組み 1

国連生物多様性の10年「湿地のグリーンウェイブ」と連携し
長良川下流域環境観察会を開催しています。



長良川

揖斐川

国連生物多様性の10年「湿地のグリーンウェイブ」参加イベント

2019 6月9日(日)
10:00~15:00

長良川下流域環境観察会



長良川河口堰がおよぼす環境影響を観察します。船に乗り探検し川底を調査します。ヨシ原を川から陸から観察します。揖斐川と木曽川の水辺にも入り比較観察します。



参加費：1500円（学生500円）

昼食は各自ご持参ください。
湿地に入られる服装でご参加ください。
家族連れ歓迎

集合9:45
長良川河口堰 駐車場
＊公共交通をご利用される方はご連絡ください。

事前予約が必要です。

●お申込み・問い合わせ先

よみがえれ長良川実行委員会

090-1284-1298(武藤)
mutohitoshi@yahoo.co.jp



(河口から4.0 k m)	揖斐川	長良川
2010/10/19	ORP +160mV	ORP -402mV
2011/6/25	ORP +170mV	ORP -359mV
2012/9/5	ORP +156mV	ORP -352mV
2014/5/25	ORP +126mV	ORP -226mV
2015/7/4	ORP +243mV	ORP -208mV
2016/5/22	ORP +222mV	ORP -227mV
2017/5/21	ORP +178mV	ORP -235mV
2018/5/27	ORP +227mV	ORP -350mV
2019/6/9	ORP +160mv ORP +182mv	ORP-165mv ORP-171mv

ヨシ原の状況観察



長良川(堰上流約1km)



揖斐川(河口堰西側地点)

揖斐川



カニの生息観察



長良川



揖斐川



2013/5/25



2015/7/4



2017/5/21



長良川

2018年5月27日

長良川・揖斐川背割り堤の河口から 9.8 km 地点に移動。
午前 10 時 30 分より、長良川の岸边、揖斐川（左図）のヨシ原に同じ人が入りそれぞれ 5 分間「カニ採取」をした。

長良川（右）の岸边はオギに覆われ、柳などの樹木も多い。
取れたカニは「アカテガニ」1匹だけ。

揖斐川（左）のヨシ原では、ベンケイガニ・クロベンケイガニが 81 匹（♂33・♀22・未判別 26）採取された。



水辺環境観察

河口堰がない木曽川の水辺と比較

木曽川 河口から約14km





サンカクイ

長良川ではこのような抽水植物の姿が消えていった



イトメ

河口堰運用後数年で、長良川から姿を消した。



●私たちの取り組み 2

COP10で提案した「生命流域の再生」めざして 伊勢湾流域圏の再生シンポジウムを開催しています。

2016 1月31日 (日) 13:30~16:30 (開場13:00)
会場：じばさん三重 6F(ホール)
定員：100名／資料代500円 ※学生無料
※予約・申し込み方法は裏面をご覧ください。

生物多様性COP10から5年・長良川河口堰運用20年

伊勢湾流域圏の再生シンポジウム

基調報告
高山 進 伊勢三河湾流域ネットワーク代表世話人

講演
「伊勢湾の環境の今」
石原 義樹 海の生物と船長

伊勢湾流域圏の再生シンポジウム

○パネリスト
●「伊勢湾の流れと寄島島の藻類の今」
千葉 賢 西田市大学教授
●「ウミガメが上る浜づくり」
森 一昭 西田市ウミガメ保存会代表
●「水質三川の魚たちと伊勢湾」
向井 昌雄 岐阜大学准教授

○コーディネーター
三石 朱美
国連生物多様性の10年市民ネットワーク

主催
伊勢・三河湾流域ネットワーク
国連生物多様性の10年(IUNDO)市民ネットワーク
中部の環境を考える会
西田市ウミガメ保存会
よみがえり鳥川実行委員会



2016年1月31日
四日市市で開催

2017年3月12日
名古屋市で開催

2018年2月10日
豊橋市で開催

2019年2月3日
岐阜市で開催

伊勢三河湾生命流域の現状と愛知目標 Present situation of Ise-Mikawa Bay Bioregion and "Aichi Target"



伊勢湾流域圏の再生シンポジウムは、伊勢湾流域圏の再生を目的として、伊勢湾流域圏の再生シンポジウムを開催しています。

伊勢湾流域圏の再生シンポジウムは、伊勢湾流域圏の再生を目的として、伊勢湾流域圏の再生シンポジウムを開催しています。

伊勢湾流域圏の再生シンポジウムは、伊勢湾流域圏の再生を目的として、伊勢湾流域圏の再生シンポジウムを開催しています。



2014年10月15日韓国・平昌にて
CEPA FAIRシンポ
「日本、インド、韓国の川・湿地・
流域そして愛知ターゲット」開催

●私たちの取り組み 3

愛知県長良川河口堰最適運用委員会が提案する
「長良川河口堰開門調査」実現めざして
開門シンポジウムや現地見学会を開催しています。

長良川/ナクトンガン(洛東江)/諫早湾のゲート開放をめざして

2017 開門シンポジウム

韓国ではナクトンガン河口堰の開放を釜山市長が宣言し、市民とともに開門に向けた取り組みが進められています。諫早湾では、2017年秋水門の開門を目標とする開門の動きが加速しています。しかし、国はこの動きに賛同していません。長良川河口堰をめぐる国・自治体・市民の動きを伝える「開門」を推進していきます。国・自治体の動きを伝えるだけでなく、韓国・諫早・長良川の現状を伝える「開門」への動きを伝えます。

長良川河口堰の開門調査の実現をめざして
今春 博識 京都大学名誉教授・愛知県長良川河口堰最適運用検討委員

ナクトンガン(洛東江)河口堰の開門に向けて
キム キョン Chol 洛東江河口堰水生態環境元総務会共同執行委員長

諫早湾の水門開放から有明海の再生へ
堀 良一 弁護士・「よみがえれ！有明海」有明海再生推進委員会委員長

12/2 (土) 10:00~16:30
事前予約不要
入場無料(資料代500円)

長良川国際会議場 5F 国際会議室
岐阜市長良橋 2695-2 TEL 058-236-1200

長良川河口堰(三重県桑名市)の開門調査実現を目指す岐阜市の市民団体などによる現場視察会が3日、長良川下流であり、約30人が参加した。長良川市民学舎など28団体でつくる「よみがえれ長良川実行委員会」の主催。前日に岐阜市内で開いた「開門シンポジウム」に続き、「開門」で被害は発生するのかがテーマに河口堰上流部の農業用水取水口などをバスで巡った。案内役の在岡正史弁護士は「冬場の非かんがい期に開門調査することは何の問題もない」と指摘。韓国から参加した洛東江河口堰の開門運動に取り組む非政府組織(NGO)の金敬哲さん(56)は「洛東江より開放への条件はいい。開放さ



河口堰の開門調査訴え 市民団体 長良川下流を視察

長良川河口堰(三重県桑名市)の開門調査実現を目指す岐阜市の市民団体などによる現場視察会が3日、長良川下流であり、約30人が参加した。長良川市民学舎など28団体でつくる「よみがえれ長良川実行委員会」の主催。前日に岐阜市内で開いた「開門シンポジウム」に続き、「開門」で被害は発生するのかがテーマに河口堰上流部の農業用水取水口などをバスで巡った。案内役の在岡正史弁護士は「冬場の非かんがい期に開門調査することは何の問題もない」と指摘。韓国から参加した洛東江河口堰の開門運動に取り組む非政府組織(NGO)の金敬哲さん(56)は「洛東江より開放への条件はいい。開放さ

2017/12/4 岐阜新聞

2016년 낙동강하구 국제 포럼

낙동강하구둑개방을 위한 한국·일본·유럽의 하구정책

일시 | 2016년 11월 15일(화) 14:00~18:00

장소 | 부산광역시청 12층 국제회의장

주최 | 낙동강하구기수생태계복합위원회
주관 | 2016년 낙동강하구 국제포럼 조직위원회
후원 | 부산광역시



12/3 (日) 10:00~15:00 現場視察 - 長良川河口堰の開門で被害は発生するのか?
(観覧無料)

主催 よみがえれ長良川実行委員会 (連絡先) 090-1384-1200 近藤

**河口堰運用25年
生物多様性COP10から10年**

**今年こそ
河口堰開門調査の実現を！**